

万博公園探鳥会

2024年5月11日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美
玉置こるり・有賀憲介・平軍二(090-6901-1425)

I 千里の鳥・万博の鳥「ニューナイスズメ」

↓ 橋本昌宗



雄 ニューナイスズメ (20240413)

雌

先月(4/13)万博公園探鳥会で観察したニューナイスズメ、その後も4月後半まで園内にいて、観察できた。大阪府内ではニューナイスズメが冬鳥として越冬している所が多いが、万博公園で観察できるのは毎年4月中旬～下旬の渡りの季節にのみである。留鳥で同属のスズメとのちがいは、スズメが頬にある黒い斑点が、ニューナイスズメにはないことからわかる。

ニューナイスズメの体長は14cmとスズメ(14.5cm)よりやや小さいが、雄は額～後頸～背の栗茶色で鮮やか、雌は雄よりも栗茶色が鈍いが、眉斑がはっきりしていて愛らしい。しかもスズメより鳴き声がにぎやかで、群の動きも活発である。

20年ほど前、万博公園のニューナイスズメはサクラで観察され、花の蜜を求めていた。最近ではサクラの花が早く咲くようになったこともあり、写真のようにクヌギ・アベマキの花に集まっていて、花につく昆虫の幼虫(いもむし類?)を探していると思われる。

ニューナイスズメの名前は、新しい穀物を新嘗(にいなめ)というが、人より先にこの新嘗を食べる鳥として「ニイナメスズメ」、転じて「ニューナイスズメ」になったとのことである(★)。

文献★ 国松俊英「名前といわれ日本の野鳥図鑑」(1995年)偕成社

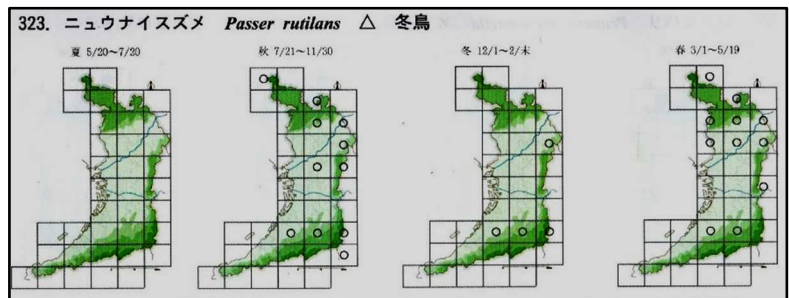
このニューナイスズメ、来春には再び万博公園に、渡来してくれることを楽しみに待ちたい。

I-① 大阪府のニューナイスズメ

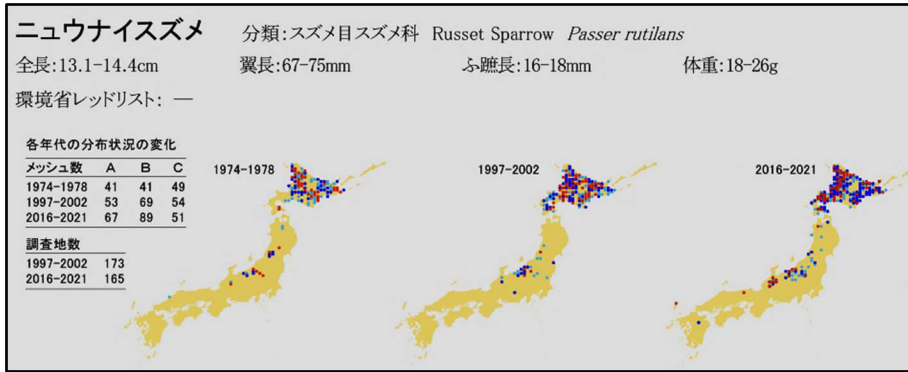
大阪府鳥類目録 2016(日本野鳥の会大阪支部)

上述の通り万博公園のニューナイスズメは春のい渡り鳥であるが、大阪府全体では冬鳥として10月～5月に観察されている。

しかし右図では真冬期(12～2月)に観察記録が少なく、春の渡りの季節に一番よく観察されているので、万博公園のようなところが多いと思われる。



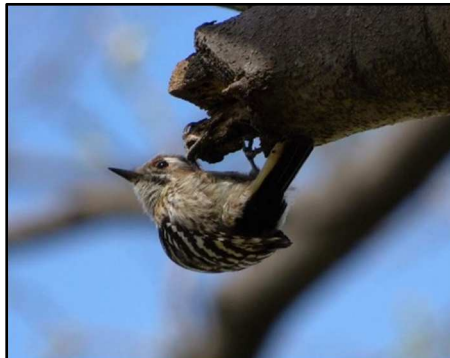
I-②日本での繁殖状況 全国鳥類繁殖分布調査報告 2016-2021年 (鳥類繁殖分布調査会)



30年前大阪支部が長野県戸隠高原に探鳥ツアーを行っていた頃、そこで、ニューナイスズメが営巣を観察していた。左図から日本では北海道に最も多く繁殖していることがわかる。

II 先月 2024 年 4 月万博探鳥会結果 (写真:橋本昌宗)

3か月連続で太陽の塔の避雷針に止まるチョウゲンボウを見てスタートした。今年は春の渡り鳥が早いようで、コサメビタキ 3羽、キビタキ1羽、アカハラ 3羽、そしてニューナイスズメは 11羽だった。日本庭園で見たアカハラは眉線が良く見え、マミチャジナイかと思われたが、写真拡大で目の回り、背中の色などからアカハラであるとわかった。3月探鳥会で確認され、今月の資料に特集した入れたハチジョウツグミはいなかった。今冬「水すましの池」上流で越冬したタシギ、探鳥会時に確認できなかったものの、終了後大矢さんにより 2羽いることは確認されたので追加した結果トータル 37種と、この季節としては収穫のある探鳥会となった。



上左 アカハラ 上中コゲラ 上右コサギ 下左ツグミ 下中シロハラ 下右ジョウビタキ



Ⅲ 万博公園のキジ(樹林の変遷と鳥)

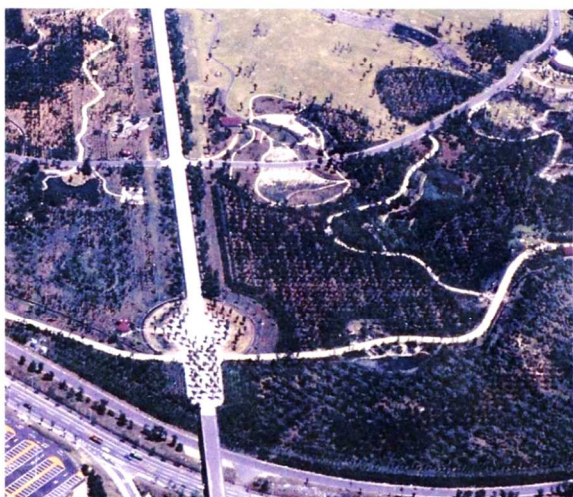
万博公園にキジが多かったことは、これまで何回も説明しているが、そのキジが万博公園探鳥会では1998年以降の全く観察されておらず、その後は、春の渡り鳥早朝調査で2012年4月に1回観察されたのみで、その後は全く記録がない。

1990年代万博公園にキジが目に見えて少なくなったことから、万博公園事務所(当時の日本万国博覧会記念協会)に対し、「園内管理が行き過ぎているのではないか。万博公園の環境管理をゆるくし、もう少し放置しておく方が良いのではないか」と、お願いしたことがあった。

たまたま、2005年に「万博公園探鳥会20周年記念誌」をまとめるにあたり、当時の「独立行政法人日本万国博覧会記念機構」より、年代の異なる2枚の航空写真利用を許可していただき、万博公園は樹林の生長で草原の鳥が住む環境が無くなり、キジがいなくなったことを知った。

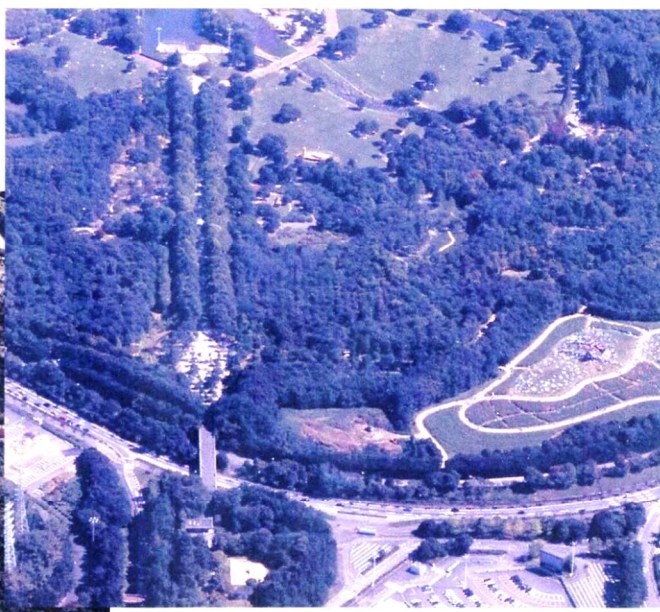
1981年

植えられた木、「1本1本が見える」



↑ 植えられた木が小さく、木々の隙間が草原状態で、キジの天国となっていた。

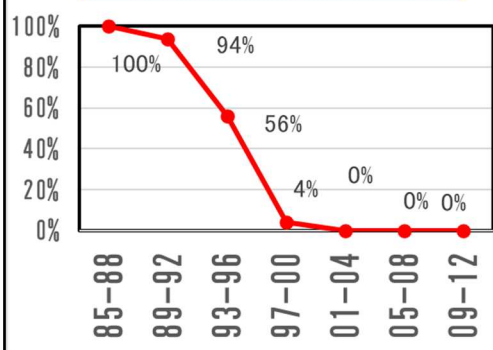
1985(or86)年春の探鳥会で、キジの「ケーン・ケーン」をカウントし、50回を超えたことがあった。



1992年

こんもりした森、「草原が無い」

キジ観察頻度(万博公園探鳥会)



20120419 早朝調査時にキジ
(廣瀬達也氏)
万博公園で記録された最後のキジ

